

<b>経営戦略論</b>		<b>講義</b>	<b>教授 丸山 高行</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネスコースの選択必修科目、経営・経済コースの専門選択科目 教職科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23102201 25320223</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

経営戦略の立案から実行、評価まで、経営戦略に関する知識が論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、ゲーム理論やコーポレート・ファイナンス理論の基礎知識をベースとして、競争環境や企業の規模・歴史などによって企業の経営戦略がどのように変化するかについて、実例を交えて解説する。

### 2. 授業の進め方

毎回の授業は、レジュメや配布資料等に基づき講義形式で行うが、一方通行の授業ではなく随所でケース・スタディを提示し、相互ディスカッションを含め、共に考える時間をとるようにする。また、毎回、授業の最後に、その日の授業で学習した内容に関する課題として3問程度練習問題を提示し、集中して考える時間を設ける。この課題の提出をもって授業への出席とカウントするとともに、Google Classroomにて、課題の解説動画をオンライン配信する。

### 3. 授業計画

1. イントロダクション	9. 経営戦略の実行と振り返り
2. 現代企業の経営戦略	10. 財務戦略①（財務戦略の基本パターン）
3. 経営目標の立て方	11. 財務戦略②（MM理論のエッセンス）
4. 経営戦略の立案と調整	12. 資本コスト概念の重要性
5. 企業間競争の原理	13. 資本コストの実務への応用
6. ゲーム理論の基礎①（戦略型ゲームと展開型ゲーム）	14. 成長戦略とブランド戦略
7. ゲーム理論の基礎②（最適応答とナッシュ均衡）	15. 全体のまとめ（コーポレート・ガバナンスとリスク管理）
8. 全社戦略、事業戦略、機能戦略	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

レジュメは、1回の授業につき、パワーポイントのスライド12枚が提供される（経営戦略論全体で180枚）。スライド12枚は、毎回の授業テーマに沿った図表と、図表に関する解説文から構成される。さらに、レジュメには、関連する資料や参考文献へのリンクおよびQRコードが貼り付けられている。受講者は、レジュメの内容を理解し、関連資料や参考文献にもアクセスして必要知識を整理するとともに、課題の解説動画を視聴することによって、毎回、1時間程度の復習を行うことが望ましい。なお、前年度のレジュメを授業スタート時にGoogle Classroomで公開するので、適宜、予習に役立ててほしい。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の課題については、上記の通り、Google Classroomに解説動画を配信する。期末試験は、課題（4問程度）にレポートの提出を加える形で行う。期末試験についても、終了後、解説動画を配信するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

### 6. 授業における学修の到達目標

経営戦略論の基礎が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、現実の企業の経営戦略や株価の動きなど、ホットな話題にも適宜触れるので、関心のある業界や企業について、より深く研究しようという意欲が高まることを期待する。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって、評価する。

## **8. テキスト・参考文献**

毎回の授業で提示するレジユメが、テキストとなる。また、レジユメの中で、適宜参考文献を紹介する。

## **9. 受講上の留意事項**

基本的に経営学基礎で学んだ知識を前提に授業を進めるので、しっかり復習しておくこと。また、経営組織論と経営戦略論は会社経営の両輪となるので、できればセットで受講することが望ましい。

## **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

## **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。